

# 令和8年度 京都市立大枝中学校 学校経営構想

## 1 大枝三訓

「自学自律」…自ら学び、自ら律する力

「協和協働」…折り合いをつけ、ともに行動する力

「連携連帯」…地域や、学年・学級を超えてつながる力

## 2 学校教育目標

「自ら学び律し、ともに行動し、人とのつながりを大切にする生徒の育成」

## 3 目指す生徒像・教職員像・学校像

〔目指す生徒像〕

- ・知識を正しく習得し、自分の考えを発信できる生徒
- ・物事を正しく判断し、ともに学び、夢に向かって行動できる生徒
- ・自他を大切にし、人とのつながりを大切にする生徒

〔目指す教職員像〕

- ・生徒理解に努め、生徒に寄り添い、信頼される教職員
- ・「チーム」として協働し、互いに学び合い、常に向上を目指す教職員
- ・生徒があこがれる、魅力ある大人像を示せる教職員

〔目指す学校像〕

- ・生徒が「通いたい」、保護者が「通わせたい」と思う、学びのある学校
- ・生徒・保護者の願いが実現できる学校
- ・生徒・保護者や地域に信頼され、愛される学校

## 4 学校経営方針

「教育目標」「目指す生徒像」「目指す教職員像」「目指す学校像」を達成するために

- ・教職員の意識改革を図り、働き方改革を踏まえながら、組織的で有機的な学校経営
- ・すべての授業や取組みに対し、日々、研究・改善の推進
- ・生徒が夢や目標に向かって、自ら切り拓くことのできる力を育てる学校づくり
- ・学校評価を含む各種調査の結果等をもとに、生徒の状況や意識、保護者の願い等を把握した学校経営の検証と改善
- ・義務教育9年間の一貫した学びと豊かな育ちの実現を図るため、小中連携主任を中心に校区内2小学校と連携の推進・強化

- ・学校運営協議会を核とした「開かれた学校」づくり

## 5 目指す生徒像から、育成を目指す資質・能力

○自らの課題や疑問点を設定し、調べたり解決しようとする道筋を大切にし、自分の考えを言語化し、他者に伝える力

(課題発見・課題解決、自己調整力・自己表現力)

○時と場に応じた正しい判断と行動ができ、他者と協力しながら夢や目標に向かって粘り強く取り組む力

(コミュニケーション力、判断力、適応力)

○調和のとれた生活習慣を身につけ、他者を尊重し良好な人間関係を築く力

(共感性、社会性)

## 6 本年度の重点目標

- 1) 教職員一人一人が常に研究・改善に努め、常に自身のスキルの向上を行う。
- 2) 命を大切にし、また、他者を大切にし、同時に自分自身も大切にされていることを実感し、いじめを許さず、人とのつながりの大切さを実感する、心や態度を育てる道徳教育や人権教育の推進を行う。
- 3) 生徒を支え寄り添う姿勢で、生徒指導体制や取組みの充実を図り、生徒の自律する力や協働する力、そして自己肯定感・自己有為性の向上を行う。
- 4) 各教科・領域において「言語活動」をとり入れ、「主体的・対話的で深い学び」の一層の推進を行う。そのために、GIGA スクール構想を踏まえ、「個別最適な学び」・「協働的な学び」を実現するICT活用をした授業や取組みを行う。
- 5) 生徒の状況や取り巻く学習環境を的確にとらえ、適切な学習課題（家庭学習）を提供し、その活用を踏まえた授業を行う。
- 6) 学びや活動のなかに「見通し」「行動」「振り返り」を意識しながら自分事と捉え、課題発見・解決につながる探究活動を行い、系統的な総合的な学習の時間を確立し実施する。あわせて、この活動を通して生徒が自身の夢や目標を持ち、未来を切り拓く力を育てるキャリア教育を推進する。
- 7) 支援を必要とする生徒や不登校生徒の状態を的確に見取り適切な働きかけや関わりを、組織的・計画的な支援につなげる。
- 8) 生徒の自主的な活動や自己実現のために、生徒会活動の活性化の促進を行う。
- 9) 小学校と協働し、小中一貫として、9年間で児童・生徒を時代の社会の担い手となるように育成する。
- 10) 学校評価等の各種調査の結果により、生徒の変容を検証し、本校の教育課題を明確にし、それらをもとに取組みを研究・改善し、より質の高い取組みを行う。